



藤岡孝志教授



# 藤岡孝志教授年譜及び業績目録

## 〈年譜〉

### 学歴

九州大学大学院教育学研究科博士課程（教育心理学専攻）単位取得退学。  
博士（人間学）

### 職歴

1987 年度 九州大学教育学部 助手  
1988 年度 山形大学教育学部 講師  
1991 年度 山形大学教育学部 助教授  
2001 年度 日本社会事業大学社会福祉学部 助教授  
2002 年度 日本社会事業大学児童ソーシャルワーク課程主任（～ 2022 年度）  
2003 年度（10 月）日本社会事業大学 学生部長代行  
2004 年度 日本社会事業大学社会福祉学部 教授  
2004 年度～ 2005 年度 日本社会事業大学 学生部長  
2006 年度～ 2007 年度 日本社会事業大学社会福祉学部学生委員会 委員長  
2008 年度～ 2009 年度 日本社会事業大学実習教育センター センター長  
2011 年度 Tulane University, The Graduate School of Social Work 客員研究員 他  
2012 年度～ 2015 年度 日本社会事業大学社会事業研究所 所長  
2013 年度（6 月）～ 2016 年度（6 月）日本社会事業大学常務理事会 理事  
2016 年度～ 2017 年度 日本社会事業大学社会福祉学部 実習教育委員長  
2018 年度～ 2021 年度 日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科 研究科長  
2022 年度 日本社会事業大学 学長室室長補佐  
2023 年度 中部学院大学人間福祉学部 教授

### 学会

APASWE 常任理事  
日本子ども家庭福祉学会理事 等

### 社会活動

東京都社会福祉事業団理事、東京都児童福祉審議会委員等

## 著書

- 支援者支援養育論：子育て支援臨床の再構築（単著）2020 ミネルヴァ書房  
愛着臨床と子ども虐待（単著）2008 ミネルヴァ書房  
不登校臨床の心理学（単著）2005 誠信書房 他

## 論文

- ・「被懲戒の歴史」と「子どもと親の相互意見表明」を踏まえた子育て支援プログラムの構築に関する研究 69, 133-149 頁（単著）2023
- ・日本社会事業大学児童ソーシャルワーク課程の歴史と実習教育に関する研究—子ども家庭ソーシャルワーカー養成 25 年の歩みを通して—日本社会事業大学研究紀要 69, 95-113. 頁（単著）2023
- ・“Support for Supporters” in Various Fields of Social Welfare under Severe Situations during the COVID-19 Pandemic in Japan. 日本社会事業大学研究紀要 68,155-172 頁（単著）2022
- ・『子どもの権利擁護 3 モデル』に基づく子育て支援臨床アプローチの構築に関する研究—養育者の「被懲戒の歴史」に着目して—日本社会事業大学研究紀要 68, 211-229 頁（単著）2022
- ・被懲戒の歴史を踏まえた子育て支援臨床の構築に関する研究 日本社会事業大学研究紀要 67, 161-177 頁（単著）2021
- ・『ジャネ臨床』から学ぶこと 催眠学研究 58, 27-33 頁（単著）2020
- ・「体罰禁止の内在化」と懲戒行動の解析に基づく子ども虐待防止に関する研究 日本社会事業大学研究紀要 66, 181-198 頁（単著）2020
- ・しつけ（懲戒）と虐待の境界の認識に関する検討—フランスの懲戒行動に関する現状をふまえて—日本社会事業大学研究紀要 66, 137-152 頁（共著）2020
- ・Study on reconstructing Attachment-Focused Clinical Approach based on an analysis of parental disciplinary behavior—Theoretical consideration—Journal of social policy and social work (22), pp.15-22（単著）2018
- ・『支援者支援養育論』の構築に関する論考—支援者支援を中核に据えた養育論—日本社会事業大学研究紀要 64, 115-129 頁（単著）2018
- ・児童養護施設における援助者支援のニーズと方法に関する仮説生成 子ども家庭福祉学 (16), 16-28 頁（共著）2016
- ・支援者支援学 支援者支援学とは こころの科学 (189), 92-98 頁（単著）2016/09  
生活困窮家庭、特に母子家庭に注目した 支援プログラムの構築に関する研究 平成 27 年度 生活困窮者問題 調査研究事業（社会福祉法人恩賜財団済生会 生活困窮者問題調査会研究助成金）報告書（共著）2016
- ・不登校臨床の展開と課題 最新精神医学【特集 現代社会と精神分析】21 (3), 179-

185 頁 (単著) 2016

- ・ Monitoring Compassion Fatigue and Compassion Satisfaction of Mental Health Professionals in a Prefectural Mental Health Care Team for Eastern Japan Earthquake Disaster: Prospective Longitudinal Cohort Questionnaire Assessment Journal of social policy and social work (19), 29-43 頁 (共著) 2015
- ・ 災害時要援護者の避難に関する文献的研究 日本社会事業大学研究紀要 61, 155-170 頁 (共著) 2015
- ・ 施設臨床における「養育者－子ども相互性」支援システムの構築：共感疲労と FR 行動、メンタライジングに焦点をあてて 日本社会事業大学研究紀要 61, 113-135 頁 (単著) 2015
- ・ 児童養護施設におけるスーパービジョンの構造に関する研究 日本社会事業大学研究紀要 61, 137-154 頁 (共著) 2015
- ・ PTSD 及びうつ病等の環境要因等の分析及び介入手法の開発と向上に資する研究 大規模災害時の精神支援及び生活支援に関する研究 東日本大震災における二次的ストレスーに関する調査 災害時のメンタルヘルス・ケアと生活支援の在り方に関する研究～東日本大震災における被災地支援に関わった専門家に対するヒアリング調査から～ PTSD 及びうつ病等の環境要因等の分析及び介入手法の開発と向上に資する研究 平成 26 年度 総括・分担研究報告書 (共著) 2015
- ・ 愛着を結ぶ、深める「愛着上の課題」を抱えた子どもたちの修復のための支援 月刊地域保健 46 (2) (単著) 2015
- ・ 「日本社会事業大学との「国際学術交流協定校」交流の歴史」について 日本社会事業大学研究紀要 60, 265-287 頁 (共著) 2014
- ・ PTSD 及びうつ病等の環境要因等の分析及び介入手法の開発と向上に資する研究 災害時要援護者の避難に関する研究 災害時要援護者の避難に関する文献的研究 特別な配慮を要する要援護者の災害時避難に関する研究 災害時要援護者の支援に関するガイドライン、マニュアルについての資料分析 PTSD 及びうつ病等の環境要因等の分析及び介入手法の開発と向上に資する研究 平成 25 年度 総括・分担研究報告書 (共著) 2014
- ・ “Diversity” of Care Givers and Aggressive Abused Children with Reactive or Proactive aggression in Child welfare Facilities through Examining Residential Map, the New Assessment Method for Estimating Relationships among Children and Care Givers. Journal of social policy and social work (17), pp.13-25 (単著) 2013
- ・ The Construction of Optimal Compassion Fatigue Model Based on the Preliminary Findings of Two Studies of Professionals Exposed to Secondary Trauma Journal of social policy and social work (16), pp.5-29 (単著) 2012

- ・「共感疲労の最適化水準モデル」とファンクショニング概念の構築に関する研究 日本社会事業大学研究紀要 58, 171-220 頁 (単著) 2012
- ・児童養護施設における養育困難児童への対処に関する研究—レジデンシャル・マップの活用と愛着臨床アプローチ (CAA) を通して—日本社会事業大学研究紀要 56, 23-43 頁 (単著) 2009
- ・共感疲労・共感満足と援助者支援 (特集 児童養護施設職員のメンタルヘルス) 児童養護 39 (2), 24-28 頁 (単著) 2008
- ・児童福祉施設における職員の「共感満足」と「共感疲労」の構造に関する研究 日本社会事業大学研究紀要 54, 75-116 頁 (単著) 2007/12
- ・愛着臨床と子ども虐待に関する研究 日本社会事業大学社会事業研究所年報 (43), 25-61 頁 (単著) 2007
- ・福祉援助職のバーンアウト、共感疲労、共感満足に関する研究—二次的トラウマティックストレスの観点からの援助者支援—日本社会事業大学研究紀要 53, 27-52 頁 (単著) 2006
- ・愛着臨床の観点からみた児童虐待への対応に関する研究 日本社会事業大学社会事業研究所年報 (42), 113-140 頁 (単著) 2006
- ・対人援助職の二次的トラウマティック・ストレスと解離に関する研究 日本社会事業大学研究紀要 52, 149-163 頁 (単著) 2005
- ・児童虐待と解離性障害の関係性に関する研究—ピエール・ジャネーの「解離」概念と臨床技法を手がかりとして—日本社会事業大学研究紀要 51, 189-214 頁 (単著) 2005
- ・愛着障害の子ども及びその親への修復的愛着療法に関する研究 日本社会事業大学研究紀要 50, 97-120 頁 (単著) 2003
- ・身体運動による被虐待児へのグループ・アプローチ (1) —運動課題の設定を中心に—子どもの虹情報研修センター紀要 (1), 84-99 頁 (共著) 2003
- ・不登校児童の体験様式と援助方式に関する研究 日本社会事業大学研究紀要 49, 135-150 頁 (単著) 2002
- ・児童福祉施設における被虐待児のための援助のあり方と今後の方向性 (特集 児童虐待) — (被虐待児・家族への支援) 月刊福祉 85 (13), 42-45 頁 (単著) 2002
- ・児童福祉施設における心理的支援に関する研究 日本社会事業大学社会事業研究所年報 (38), 27-46 頁 (共著) 2002
- ・児童虐待と愛着障害の関係性に関する研究 日本社会事業大学研究紀要 48, 243-258 頁 (単著) 2001
- ・学校のメンタルヘルスと「体験様式」精神療法 22 (4), 366-372 頁 (単著) 1996
- ・On the lateral dominance on locus exploration human motor space Japanese Psychological Research. Vol.31 (No.2), 92-96. 頁 (単著) 1989
- ・ポインティング課題における動作空間の異方性について 九州大学教育学部紀要 教育心理学部門 32 (2), p93-98 頁 (共著) 1988

- ・ The Effect of Strategies on Motor Memory in Human Motor Space 九州大学教育学部紀要 教育心理学部門 32 (1), p17-22 頁 (共著) 1987
- ・ 動作療法の治療過程に関する一考察 心理臨床学研究 5, 14-25 頁 (単著) 1987
- ・ 重度障害児に対する動作訓練の効果 リハビリテーション心理学研究 15, 45-53 頁 (単著) 1987
- ・ 動作空間における位置認知と再生の関係 九州大学教育学部紀要 教育心理学部門 31 (1), p19-26 頁 (共著) 1986
- ・ 動作療法の治療過程について一神経症の事例を通して 九州大学教育学部紀要 教育心理学部門 31 (2), p207-216 頁 (単著) 1986
- ・ 動作空間研究の展望 リハビリテーション心理学研究 13, 47-60 頁 (単著) 1985
- ・ 動作空間認知における能動的探索運動の効果 九州大学教育学部紀要 教育心理学部門 29 (2), p155-163 頁 (共著) 1985 他

## その他

- ・ 他者に対する支援行為そのものが、支援者を精神的身体的健康に導く：—その可能性に期待：「支援者支援学」の立場から—地方公務員「安全と健康フォーラム」31 (4), 9-13 頁 (単著) 2021
- ・ 2014 年度社大海外ソーシャルワーク研修報告：インドネシアの社会福祉とソーシャルワークの姿：社会省の取り組みを中心に (社大福祉フォーラム 2015 報告) — (各分科会からの報告) — 社会事業研究 (55), 54-64 頁 (共著) 2016
- ・ スリランカの社会福祉：ソーシャルワークにおける貧困と仏教に関する諸課題 社大福祉フォーラム報告資料集 55th (共著) 2016
- ・ 障害を持った子どもを育むには (これからの子育て < 特集 >) 教育と医学 39 (2), p185-191 頁 (単著) 1991 他